

議 長 追加日程第2「議案第63号平成30年度松田町一般会計補正予算（第6号）」
を議題といたします。

町長の提案説明を求めます。

町 長 議案第63号平成30年度松田町一般会計補正予算（第6号）。平成30年度松田
町一般会計補正予算（第6号）は次に定めるところによる。

（歳出予算の補正）第1条、歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごと
の金額並びに補正後の歳出予算の金額は、「第1表 歳出予算補正」による。

（債務負担行為の補正）第2条、債務負担行為の追加は、「第2表 債務負
担行為補正」による。

平成30年12月7日提出、松田町長 本山博幸。よろしくお願ひいたします。

議 長 町長の提案説明が終わりました。担当課長の細部説明を求めます。

政策推進課長 それでは、議案第63号平成30年度松田町一般会計補正予算（第6号）につい
て御説明をさせていただきます。

初めにですね、3ページをお開きください。第2表債務負担行為の補正の追
加でございます。町道3号線道路改良事業及び松田小学校整備事業の債務負
担行為の補正でございます。

1つ目の町道3号線道路改良事業に伴う債務負担行為の補正について説明を
させていただきます。松田小学校校舎等建設に伴い、町道3号線の該当する
箇所の幅員狭小による通学時の児童の安全確保や、危険な状態を防ぐことな
どを図るために、本事業につきましては、事業期間、本年度平成30年度から
平成34年度の5カ年ですね、債務負担行為を設定するものでございます。
債務負担行為の限度額につきましては2億7,100万円でございます。

次に、松田小学校整備事業につきましては、昭和48年に建設された現在の松
田小学校につきましては、築45年が経過し、施設の老朽化とともにですね、
校舎の耐力度診断での結果等を踏まえ、建てかえの必要性和将来を見据えた
優先性を含め、事業を進めることに至ったものでございます。つきましては、
事業期間、平成31年度から平成34年度の4年間の債務負担行為を設定するも
のでございます。限度額につきましては28億9,600万円でございます。

それでは、先にですね、10ページをお開きください。この債務負担行為の支

出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額に関する調書について、先に御説明をさせていただきます。町道3号線道路改良事業につきましては限度額2億7,100万円、財源内訳としましては国庫支出金1億4,905万円、町債につきましては1億975万5,000円、一般財1,209万5,000円でございます。事業概要等につきましては、用地の買収、建物移設、歩道設置工事、交差点改良工事や車道工事によるものでございます。

次に、松田小学校整備事業につきましては、債務負担行為の限度額28億9,600万円に対しまして、財源内訳、国庫支出金4億400万円、町債、起債と県貸付金を含め23億1,000万円、その他基金繰入金1億8,200万円でございます。

それでは、8ページになります。3、歳出について説明をさせていただきます。土木費、道路橋梁費、道路新設改良費、委託料としまして、町道3号線土地鑑定評価業務委託料63万円を補正するものでございます。予備費につきましては63万円を減額いたします。

以上、一般会計補正予算（第6号）について、よろしく御審議のほうをお願いしたいと思います。

議 長 担当課長の細部説明が終わりました。それでは、これより質疑に入ります。

2 番 田 代 それでは、議案第63号一般会計補正予算（6号）の債務負担行為31億6,700万についてお尋ねさせていただきます。初めに、これ私の記憶なんですけれども、昭和30年4月1日に松田町が誕生して、63年がもう過ぎております。その中で思い起しますと、松田町のこの長い歴史の中で、昭和45年、私が松田中学3年生のときに、松中の建設工事が行われました。その後、昭和48年松田小学校建設工事、昭和56年町民文化センター、これについては20億弱ぐらいの数字と記憶しております。当時としてはもう本当に松田町の最大の事業というふうなことで行った記憶があります。昭和61年ごろだと思んですけど、寄中学校の改築、その後、平成7年、健康福祉センター、あとはちょっと額は小さいんですが、ハーブ館、その後に平成18年竣工のこの庁舎建設、これについても全部の合計が15億ぐらいというふうには記憶があります。そのような中で、今回の松田小学校、それと付帯工事として進入路合わせて31

億6,700万、これについては庁舎の2倍、もう本当にすごい金額であります。そのような中で質問をさせていただきたいと思います。

この補正の中では全体像がまだ財源内訳出ておりませんが、昨日開催されました議会全員協議会、この中で財源の内訳ということで、全体事業費28億9,600万、国庫支出金4億400万、町債23億1,000万、全体の約80%です。で、繰入金、これについては1億8,200万で、財政調整基金で…ごめんなさい、教育施設整備基金ですか。これを充当するのかなというふうに考えております。まず1点が、今年度の教育施設整備基金について、2,700万円ぐらいの…ごめんなさい、2億7,000万というふうな決算であったように感じました。あと3,000万積み立てる一方で、松中の躯体の取り崩し、それと松小の一般教室のクーラー、それとこの説明のありました特別教室、そういったもので取り崩すと、2億8,000万円ぐらいになるのかなと思うんですけども。この辺のまず教育施設整備基金の一応ここで補正見て、やりくりした後、年度末に幾らぐらい残るのか。教育施設整備基金の年度末の予想額について、まずお知らせください。

政策推進課長 ありがとうございます。教育施設整備基金につきましては、平成29年度末の現在高2億7,009万6,935円でございます。平成30年度の予算計上におきまして、まず積み立てがでございます。おおむね3,000万。ここです、これから見込まれる取り崩しを含めて1,900万円を取り崩す見込みでございます。それを含めまして、平成30年度の末現在高の見込みにつきましては、2億8,111万6,935円を現在見込んでいるところでございます。以上です。

2番田代 2億8,000万、約2億8,000万が30年度の決算額になるということです。そこで、町長にお尋ねします。繰入金1億8,200万です。おおむね2億8,000万積み立てられるので、1億ぐらいが余裕があると思います。私個人の感想では、この1億近い額も充当して、なるべく起債を少なくしたほうがいいのかというふうに考えるんですけども、この辺について町長のお考えについてお尋ねいたします。

町長 御質問ありがとうございます。おっしゃられるように、引き算をすれば1億ぐらい残るというふうな格好でございます。ただ、この基金のですね、何

ですか、どういう経緯で基金を立てられたか、基金に充てていい対象物とい
いましょうかね、というふうなことの歴史のひもをちょっと解いてみると、
いろんな御意見されていたんですけど、最終的には学校だけでなく、教育施
設がこれから老朽化してくることも鑑みて、学校に特化しないと。ただ、お
おむね小学校の建設について、この基金を設置しますというようなことで最
最終的に決着してるような記録が残ってるような記憶を私はしております。と
いうことを考えると、小学校の建設については、1億…マックスですね、ほ
か全部を借入れをさせてもらったときのマックスの金額としては…の中で
残った分の一般財の…一般財といひましょか、基金からの繰入金というこ
とで、計算して1億残るとい数字は、この1億についてはまだ、文化セン
ターも今リニューアルもしてますし、文化センター自体が教育施設の分と公
民館施設とありますしね。これから中学校に関しても、1年小学校より古い
わけですし、今のところ雨漏りもしてないというようなこともありますから、
そういった部分での危機管理上ですね、応急的に、緊急的に使える部分がま
た基金の予算のところもありますので、必要な数字をもくろんで、必要な金
額はしっかりとキープしつつ、必要以上には基金に積む必要性はないかなと
思いますけども、その辺を最終的に、他の学校建設における費用の関係で、
もしかしたら我々の見込みよりも低くなってきたりとかするのであれば、あ
とは財政推計的にも、今マックスで見えますから、その辺の圧迫が本当にな
いような形になるのであれば、必要な分だけお金を残して、後年度の負担が
少なくするようにはしたいというふうには考えています。以上です。

2 番 田 代 この教育施設整備基金については、平成23年の3月議会で制定されております。そのときの議員さんは、現在の3期以上の方。管理職の職員は、多分私
だけだと思います。その議論について簡単に申し上げますと、当初、島村町
長が松田小学校を建設したいということで、所信表明の中で松小の建設に伴
う基金制定、それをお話しされました。しかしながら、内部で詰めた結果だ
と思うんですけども、やはり町長が心配してるように、やはり義務教育施
設、いろんなやっぱり急遽お金が必要なこともあるだろうということで、考
え方としては松田小学校のための基金積み立てなんですけれども、幅を広げ

て義務教育施設というふうな中で教育施設整備基金、これについて山岸当時のひでは議員、菅谷議員は…（「一治議員」の声あり）すいません。一治議員。それと、菅谷議員は、松小としてわかりやすくするためだということで、結構議論をした記憶があります。ですから、私はある程度の額は松小に使うべきだというふうに思います。まだ1億残すというのはどうなのかな。もう少し所期の目的から考えて、基金を使って起債を少なく、後年度負担を楽にするべきだというふうに私は考えます。町長どうでしょうか。

町長 本当におっしゃるとおりで、後年度に負担を多く…要は、必要以上に多くする必要は全くないというような考え方は、私も持ってます。あとですね、先ほど一番初めに冒頭、田代議員がおっしゃられた全体で31億6,700万ということであれば、道路改良費もこの基金から出せるんじゃないかなという気もしなくなっていくような形になっちゃいますから、あくまでも今回はですね、我々としては、道路改良費は、将来的な子供たちのやっぱり危ない部分と、交差点改良。要は駅とのですね、交差点改良を考えたときには、いずれにする、たまたまこのタイミングが建設工事と重なったというだけでございますので、なるべくですね、表現的には28億9,600万というのが小学校の建設費だというふうに考えていただけると、非常にありがたい。もしくは、それが小学校までに伴うということであれば、今回は小学校伴う建設工事としては、一部基金を充ててもいいのかなという発想になっちゃったりとかするのは余りよろしくないとも思ってますので、そんな格好で一般財の使い方とか考えなきゃいけないと思います。ただ、いずれにいたしましても、後年度負担が大きくなるような…大きくなりすぎないようにですね、我々も工夫して、今後事業を進めさせていただきたいというふうには考えております。以上です。

2 番 田 代 町長ありがとうございます。今、後年度負担ということで、前日いただいた公債費の見込み額、これをちょっとあけていただきたいと思います。松田小学校の起債。それについては、きのうの説明で23億1,000万、全体の79.7%です。松田小学校の整備事業28億9,600万に対して23億1,000万、79.7%。全体事業費の約80%が起債なんですよね。後年度負担で80%というのはどうなの

かなと。まず、この起債の限度額をどの程度まで今回使ってるか。この辺をちょっと財政課長にお伺いしたいと思います。23億1,000万のこの起債の限度額、どのくらいの、限度額に対してどのくらいの割合で起債をこれを起こしている数字なのか。この額について、率についてお願いいたします。

起債充当に対する限度額、そういう意味です。この事業で…すいません、説明が悪かったですね。この事業に対して起債してますけれども、これが最高で幾らまで借りれるか。その中で、この23億というのはどのくらいの割合なのか。よろしくをお願いします。

政策推進課長 ありがとうございます。本事業につきましては、国庫補助対象事業分というのがございます。ここにつきましては、起債の充当率は90%で見込んでございます。それ以外の対象経費につきましては、充当率を75%として全てやっております。主なものにつきましては、解体工事費…いいですか。でやっております。

2 番 田 代 この資料の中で、下の段ですよ。松田小学校建設事業23億960万。それで、3年据え置きで0.5%。この備考欄ですね。国庫補助事業分についての充当率の70%を交付税措置ということで、国庫補助事業の金額の起債額については交付税で措置されると。この額については、お幾らぐらいを見てますか。すぐ出なかったらいいですよ。

政策推進課長 確認して、後ほど報告させていただきます。

2 番 田 代 それでは、また特別委員会のほうでも結構です。ここで話したいのは、一つは論法として、70%交付税措置されるんだから、借金してもいいだろうという考えもあります。ただ、この表の上を見ていただきたいんですけど、一番私気になってるのが、今現在6%の実質公債費比率です。安全…安全な額です。3カ年平均の公債費比率が6%です。ところが、学校建設をやって、3年据え置きで返し始めたころ、そうすると、24年…5年ぐらいから始まると思うんですけども、9.6から10.4で、8年後の26、27、28年。西暦2026年、27年、28年、10.9%、11.2%、10.9%。はっきり言って、11%ですよ、3年間で。ここに想定した主な起債事業ということで、今までお借りした事業、それと、これからかかる事業について書いてあるんですけど、新松田の南口、

再開発ですか。南口を含めた新松田駅周辺の開発事業も、近い将来やってきたいというお話なんですけども、その事業が入ってないです。

今、審査委員会で細かくやりますので、今、細かいことは求めませんけれども、要はお話ししたいことが、この起債比率…実質公債費比率が、もう少し高くなったら何%になるのかな。これは、根拠がね、私の直感なんですけれども、やっぱり松田の財政力から言うと、10%。11%超えるとちょっときついのかなと。いっても10%なのかなというふうに感じます。そういった中で、お話ししたいことが、先ほどのお話のように、もう少し後年度に負担をかけないで、教育施設整備基金をもう少し使ってもいいのかなと。それが1点です。

それと、あとは公共施設。例えば文化センター、この間ある程度リニューアルしましたけれども、いろいろな公共施設が建築して、リニューアル、ペンキ塗り直したりとか、構造的に補強したりだとか、そういったものも出てくると思います。これについては、もう計画を数年前に立てて、公共施設の更新計画みたいなのを持ってられると思います。そういった中で、今度はやはり起債をするのか、一般財で修繕するのか。そういった中で、やはり今後の財政需要というのはすごい多いのかなというふうに感じます。確かに、戻りますけども、国庫分については起債が70%交付税措置されるよと。この辺については、後でまた議論させていただきますけれども、交付税が措置されても、もとの分母が大きすぎると、すごい心配です。

最後になりますけれども、庁舎建設のときには、5億円前後ぐらい基金をためて、それで平成17年と18年の2カ年事業です。そのときに、単年度ごとの投資的事業として、庁舎建設に一般財も、その年度の一般財を充当したような記憶もあります。今回はそれも見てないわけです。要するに、基金で1億8,000万少々を使うと。あとは起債と国庫だよと。であれば、もう少し、要するにこの本格的に工事が始まる3カ年度ですよ。32、33、34かな。その辺が一番お金多くなると思うんですけど。そのときに、もう少し一般財も、2,500万でも3,000万でもいいと思うんですよ。3カ年であれば1億ぐらいになります。それと、基金をうまく崩して…1億全部崩すのは、やはり町長の

お考えのとおりまづいと思うので、何かあったときのためによっこしていく。ということで、2億弱のお金をある程度、当初の頭金である程度用意する。住宅建設でも、私たちが住宅直すときでもそうですけども、金利が安いから、今底金利だから全部借金でやるべえよという人もいられますけれども、やはり健全に家庭の財政を考えれば、やはりある程度ためたお金を有効に利用しながら、後の生活を楽にするような形。また、毎年毎年の何かあっても備えられるような、そういうふうな形からすると、もう少し当初の財源の振り分けについて御検討いただきたいと。これについては、まだ外数ですからね。内訳についてはまだ出ておりません。これが今回認められるかどうかわかりませんが、仮に認められた後には、単年度ごとに4カ年で財源内訳が出てくると思います。そのときに、私は今お話ししたように、一般財、それと基金のもう少し取り崩し。これについて、町長にぜひともお願いしたいと思います。お答えをお願いします。回答をお願いします。

町 長 おっしゃるとおりだと私も思ってます。本当に、きのうの一般質問でもいただいて話をしましたけども、学校というものが、松田町にとってどういう位置づけなのかということ、やっぱり皆さんで共有しなきゃいけないと思うんですね。そういった面でいったときに、後年度に負担をかけたくない、もう、例えば親心としては、やっぱりみんなそう思うわけだと思います。ですから、ここで基金を、後のことを考えるんだったら基金の積み立てをやめるのではなくて、きちっと後のことを考えれば、もうここから3年間、4年間きちっとその分に対してはためながら、必要な分を…工事の途中でお金払うところもありますし、借りる必要がなければもうこの分は借りませんというような格好の中で、必要な分だけ残したままで返すというふうなこともしなくてはいけませんし、駅の話も先ほど出ましたように、駅の金額もそろそろ皆さん方に御提示するような…できるような準備もしてるところがありますので、そういった格好の中で覚悟を持って、何でも借りられるから借りますということではなくてですね。手前でやっぱり切り詰めるところは切り詰めながら、やっぱりやっつけていかなきゃいけないというふうにも考えております。ですから、後年度負担をとにかく減らす努力は、これからもですね、皆さん

方と一緒に知恵を振り絞りながらやっていきたいというふうに考えます。以上です。

2 番 田 代 それでは、詳細については特別委員会でやり取りさせていただきたいと思
います。以上で質問を終わります。

議 長 この辺で質疑を打ち切りたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。質疑を打ち切ります。

お諮りします。ただいま議題となっております議案第63号平成30年度松田町
一般会計補正予算(第6号)につきましては、議長を除く議員全員11名で構
成する補正予算(松田小学校等整備事業)審査特別委員会を設置し、そこに
付託の上、審査することにしたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。よって、本案は議長を除く議員全員11名で構成する補
正予算(松田小学校等整備事業)審査特別委員会を設置し、そこに付託の上、
審査することに決定しました。

ここで暫時休憩をします。休憩中に正・副委員長の選出をお願いいたし
ます。決定しましたら即時に議長まで報告願います。12時まで。12時より再開
をします。

(11時54分)

議 長 休憩を解いて再開をいたします。

(12時00分)

補正予算(松田小学校等整備事業)審査特別委員会正・副委員長が選出され
ましたので、事務局長より報告をさせます。

議 会 事 務 局 長 それでは、補正予算(松田小学校等整備事業)審査特別委員会正・副委員長の
報告をいたします。委員長には3番 井上栄一君、副委員長には7番 利根
川茂君が選出されました。以上のとおりです。

議 長 ただいま事務局長より報告がありましたとおり、補正予算(松田小学校等整
備事業)審査特別委員会委員長に3番 井上栄一君、副委員長に7番 利根川
茂君を選任することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。それでは、補正予算(松田小学校等整備事業)審査特

別委員会、審査をよろしくお願いを申し上げます。なお、議長はオブザーバーとして参加させていただきます。よろしくお願いをいたします。午後1時半より特別委員会を大会議室…4階大会議室にて開催をいたします。お集まりをいただきたいと思っております。

以上で本日予定しました日程の全てが終了しましたので、本日の会議はこれにて散会いたします。

お知らせします。10日は午前9時より特別委員会、4階大会議室で委員会を開きますので、9時定刻までに御参集くださいますようお願いを申し上げます。なお、11日は午前9時より、同じく特別委員会を大会議室で開催をいたします。定刻9時までに御参集くださいますよう、よろしくお願いを申し上げます。なお、最終日の12日は、午前中は特別委員会、午後は本会議を開催いたします。定刻9時までに御参集くださいますよう、よろしくお願いをいたします。

本日はまことに御苦労さまでございました。 (12時02分)